

こころ育てる絵本との出会い

まがちゃん通信

2013 12 - 2014 1 vol. **23**

絵本原画展 **どいかや**

特集 **しかけ絵本**



どい かや

人とのつながりや自然の美しさに
感動したこと、
大切だと思ったことを
無理なくお話にしていきたい。



どい かやプロフィール

1969年、東京都に生まれる。東京造形大学デザイン科卒業。
8匹の猫たちと暮らす日々の中から、自然や生き物への愛情あふれる絵本を
数多く発表している。
絵本の作品に「チリとチリリ」シリーズ(アリス館)、「チップとチョコ」シリーズ
(文溪堂)、『バンちゃんのおさんぽ』(BL出版)、「トラリーヌ」シリーズ、『ハー
ニャの庭で』(偕成社)、『かえるのピータン』(ブロンズ新社)、『ねこのうたた
ね』(教育画劇)など多数。文章をてがけた絵本に『トイちゃん&ミーミーとナー
ナー』(アリス館)、『やまねこのおはなし』(イースト・プレス)など。千葉県在住。
ホームページ <http://ikimono-gasuki.jp/>

絵本原画展開催

平成25年11月30日(土)～平成26年2月2日(日)

原画展示絵本

「チリとチリリ」

ゆきのひのおはなし」
(アリス館)

初雪が降った日、チリとチリリは
自転車で森へ出かけました。
まっ白な森を進むと氷の扉があ
り、中に入るとそこには…。



「チリとチリリ」

ちかのおはなし」
(アリス館)

家の地下で大きな音がして何か
が逃げていきました。ふたりは追
いかけて…。



冬のギャラリイでは、人気の『チリとチリリ』シリーズから、

『チリとチリリ ゆきのひのおはなし』『チリとチリリ ちかのおはなし』の2冊をご紹介します。

どいかや先生に
インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

学生時代から自分の思いを絵本のかたちで表現することがすごく楽しかったので絵本を作ることが日常の中になりました。あとさき塾という絵本のワークショップとの出会いも大きかったと思います。

画材は何を使っていらっしゃいますか？

主に色鉛筆と水彩紙(ケナフ)です。最近は国産楮(こも)の和紙も使います。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『チリとチリリ ゆきのひのおはなし』1作目の『チリとチリリ』で訪れた森にまた出かけます。「チリとチリリ」で立ち寄った喫茶店やホテルを通り過ぎ、さらに奥へと進むと森の動物たちが冬を過ごす場所があり、チリとチリリもおじゃまして暖かい雪の日を過ごします。こんな冬を過ごしたいという憧れを描いています。

『チリとチリリ ちかのおはなし』

秘話ということではないですが、シリーズ6作目の『ちかのおはなし』ではチリとチリリのお家の内部がはじめて登場します。

前の5作に登場したモノがどこかに隠れているかもしれません。すぐ近くで暮らしながら今まで出会えなかった近所さんとの交流がうまれます。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は？

どの絵本もそれぞれに違った思い入れがあるのでいちばんというのは特にないんです。

絵本をお作りになるときのこだわりは？

自分が普段の生活の中で、人とのつながりや自然の美しさに感動したこと、大切だと強く思ったことを無理なくお話にしたいと思っています。絵本はたくさん紙を使うことも意識して、どうしても描きたいものを作るよう心がけています。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？

伝えようと思う前に、自分が感じたことをただ言葉と絵にしているというのが本当のところなんです。子どもたちには、絵本を好きになってもらいたいというより、人や自然生きているものと触れ合って、うれしかったり悲しかったりいろいろ「思い」を経験してほしいと思います。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

今までは、ただ感じたことを好きなように描いてきましたが、昔話のように楽しく伝えることのできるものも今後描きたいと思っています。

ご趣味についてお聞かせください。

運動です。すぐ近くにスポーツ施設があるので、ヨガや格闘技系のプログラムが大好きで週5日通っています。

好きな言葉を教えてください。

「ねこ」です。常に猫に囲まれているせいか「ねこ」という言葉の響きが大好きです。「寝る子」という意味があると聞いたこともあります。余計なことをなるべくしない猫の生き方も見習いたいものです。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

私にとって、絵本を読んでいただけのことには本当にうれしいことです。絵本を通じてみなさんと出会えたことは、すごく不思議でラッキーなことだと思います。ありがとうございます。



どいかや先生、ありがとうございました！



『チリとチリリ ちかのおはなし』
(アリス館)

どいかや先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あて先 どいかやサイン本プレゼント係
締め切り 平成26年1月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。





西 小百合
射水市大島絵本館 企画係長

特集 / しかけ絵本

あらゆる人を笑顔にするもの

書店で「ナマケモノのいる森で」というしかけ絵本に出会った。ページをめくると、緑豊かな森が立ち上がった。ある日、森にするどい音がひびきわたり、木々は次々と切り倒されはじめた。その中を逃げていく生き物たち。そして読者は見つけるのだ。たった1本残った木に、ぶらさがったままのナマケモノを。ところがその木にもブルドーザーが迫り、ナマケモノは森と一緒に消えてしまう。

この絵本は、2000年から2010年の間に、1300万ヘクタールもの森林が失われ、その破壊がナマケモノを含む数多くの動物の生存をおびやかしているという事実を訴えている。絵本ではこの後、ひとりのヒトが土をたがやし種をまき、長い時間をかけて森を元にもどす。何もなかった白いページにびよこんと緑の芽が立ち上がるしかけが実にかわいらしいので、ぜひ手にとってご覧いただきたい。

これまで私は、どれだけ盛大に動くか飛び出すかという視点でしかけ絵本を楽しんできたので、このようなメッセージ性の強いしかけ絵本を新鮮に感じた。

*

ページをめくると、家や動物が立体的に飛び出したり動いたりするしかけ絵本。その歴史は大変古く、書物の中の表現方法としての起源は1300年代にまで遡ると

考えられている。もともとは兵法や占星術、医学などの専門分野を分かりやすく説明するために用いられたようである。しかけ絵本として登場したのは1700年代後半。時代と共に変遷し、現在では大人も子どもも楽しめるものとして親しまれている。

*

パソコンや携帯電話、スマートフォンが普及した現代。身の回りには常に魅力的な刺激があるにもかかわらず、しかけ絵本というアナログなものに今も人々が心をひかれるのはなぜだろう。

目まぐるしく発達していく新しい技術の成果に目を見張るのと同様に、紙というシンプルな素材だけで、立体的なものや動くものがつくられることにもまた目を見張る。人々が、この相対的な両者に同じ反応を示すというのは興味深い。

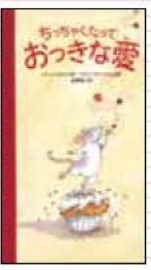
*

ともあれ、理屈抜きでしかけ絵本は面白い。絵本館のライブラリーにはしかけ絵本のコーナーがあり、様々な種類のしかけ絵本が並んでいる。大人も子どもも、あらゆる人を笑顔にしてみよう、そんなパワーがしかけ絵本にはある。まだ未体験の方はぜひお試しあれ。大興奮すること間違いなしである。

私のおすすめ絵本

『ちっちゃくたって おっきな愛』
作/ジャン・ウリス
絵/ジャン・ファンリー
訳/金原瑞人
小峰書店

ねずみのちびちびくんが大好きな彼女に近づくために、いろいろなものを踏み台にしていきます。とても愛らしい絵本。



『不思議の国のアリス』
作/ロバート・サブダ
原作/ルイス・キャロル
訳/わくはじめ
©Robert Sabuda
大日本絵画

しかけ絵本の世界をリードするロバート・サブダの作品。アリスの周りにトランプが舞う場面は何度見ても圧巻。



『ナマケモノのいる森で』
しかけ/アヌック・ボワロペールとレイ・リゴ
文/ソフィー・ストラディ
訳/松田素子
アノミニスタジオ

文中で紹介した1冊。森がよみがえる場面のしかけに感動しながら、自然破壊への警鐘に耳を傾けたい。



『オレのカミがた、どこかへん?』
作/きたむらさし BL出版

パーティーに招待されたライオンのライオネルにとこやさんがすすめるカミがたはちょっと変なものばかり。あなたも試してみませんか?

『しろくまのパンツ』
作/tupera tupera(亀山達也 中川教子)
ブロンズ新社

しろくまさんがねずみさんといっしょになくしたパンツをさがします。物語のラストではあっと驚き、思わずにやり!

『ポップアップはらへこあおむし』
作/エリック・カール 訳/もりひさし 偕成社

おなじみ「はらへこあおむし」のしかけ絵本。おいしいものをいっぱい食べて大きくなったあおむしとさなぎが迫力。

『ちいさなかくれんぼ』
作/デビッド・A・カーター 訳/きたむらさし
大日本絵画

ポップアートのような作品が魅力のデビッド・A・カーターのページにかくれているものをさがしてみよう。

